

時代のビジョンを持つ時代の奉仕者に緊密に従うことによって、

時代の務めの中へと入る四つの極めて重要な行程

聖書：列王上 18:21-40. 19:2-12. 列王下 2:1-14

I. エリヤは彼の時代のために、ビジョンを持つ時代の奉仕者でした（参照、マラキ 4:5-6. ルカ 1:13-17, 76-80. マタイ 17:1-13. 啓 11:3-12）。主はあらゆる時代に、達成したい特別な事柄を持っています。彼はご自身の回復と、行なうべきご自身の働きを持っています。彼が一つの時代に行なう特別な回復と働きは、その時代の務めです。エリヤの務めは、彼が反対の証しとなって、偶像が神を怒らせる罪であると、イスラエルの子たちに告げることでした。全イスラエルが偶像を拝んでいたとき、エリヤは彼らに、彼らが拝んでいる偶像は偽の神々であり、エホバだけが真の神であることを告げました：

A. エリヤの名は、「わたしの神はエホバである」を意味します。これは彼の使命とメッセージについて語っています。彼は捕囚の前の、最も顕著で最も代表的な預言者でした。彼は勝利者でした。

B. エリヤの時代、全イスラエルはバアルを拝んでおり、エリヤだけが、エホバは神であると言っていました。エリヤはイスラエルの悲哀の歴史の最も暗い時に、神によって起こされた預言者でした。その時イスラエルの荒廃と暗やみは最も深刻でした。イスラエルの王国全体が偶像礼拝の様式に従っていました——列王上 18:19。

C. 彼らがバアルを拝んだことは、実は彼らがサタンを拝んだことでした。列王紀下第1章2節は、エクロン人の神はバアル・ゼブブであったと言っています。新約でベルゼブブは「はえの君」を意味し、悪鬼どもの支配者であるサタンを指しています。この名はユダヤ人によって、軽べつの意味で、ベルゼブルに変えられました。それは「ふん塚の君」を意味します——マタイ 10:25. 12:24, 27. マルコ 3:22. ルカ 11:15：

1. サタンはふん塚の君として、もっぱら、はえどもを導いてふんを食べさせました。彼はまたはえの君であるので、すべての罪人ははえのようであり、サタンに従って「ふんを食べます」。アダムの墮落した子孫はすべて、サタンのとりこです。サタンは彼らを導いて罪を犯させようとし、彼らを「罪の奴隷」とします——ヨハネ 8:34。

2. わたしたちは使徒パウロの模範に従う必要があります。彼は、過去、彼にとって益であったすべての事柄を、「ちりあくた」（くず、がらくた、汚物、犬の食物、ふん）と勘定すると言い、それは、彼がキリストを獲得するためであると言いました——ピリピ 3:5-8。

D. アハブは彼以前のすべての王にまさって、エホバを怒らせました。その結果、神はエリヤを起こして、イスラエルの子たちが偶像礼拝のゆえに煩わされたこと、

エホバだけが神であることを宣言させました——列王上 16:33. 18:4, 17-18, 37 :

1. 新約の信者として、わたしたちは使徒ヨハネの言葉に注意を払う必要があります——「小さい子供たちよ、偶像から自分自身を守りなさい」(Iヨハネ 5:21)。偶像とは、真実の、真の、実際の神としてのキリストに置き換わり、その代替物であるすべてのものを指しています(ヨハネ 20:28-29)。わたしたちは、人なるイエスが神ご自身であることを見る必要があります(1:1-2. 5:18. 10:33. ローマ 9:5. ピリピ 2:6. Iヨハネ 5:20)。
 2. エホバはエゼキエルに、「人の子よ、これらの人たちは彼らの偶像を心の中に抱き」と言いました。わたしたちの心の中の偶像は、わたしたちが主以上に愛し、わたしたちの生活の中で主に置き換わる、わたしたちの中のすべてのものです——エゼキエル 14:3。
 3. 「反キリスト (antichrist)」という言葉で、ギリシャ語の接頭辞、「反 (anti)」には二つの主要な意味があります。第一に、それは「反対する」を意味します。第二に、それは「の代わりに」、あるいは「に代わって」を意味します。反キリストであることは、一方で、キリストに反対することであり、もう一方で、キリストに代わるもの、キリストに置き換わるものを持つことです——Iヨハネ 2:18-19。
 4. わたしたちは主に、反キリストの原則、すなわちキリストに置き換わる原則にある生活を持つことから、わたしたちを救ってくださるように求める必要があります。キリストは油塗られた方であり、また油塗りです。反キリストの原則にある生活を持つことは、「反-油塗り」の原則にある生活を持つことです。「反-油塗り」は、わたしたちの中の三一の神の行動、働き、浸透に「反対すること」です——Iヨハネ 2:20, 27。
 5. サタンの目標は、数多くの偶像や宗教の背後に隠れることによって、人々からの礼拝を受けることです(マタイ 4:8-9)。偶像には、それらの背後に隠れている邪悪な霊どもや悪鬼どもがいます。なぜなら、サタンがそれらの背後にいるからです。御父が礼拝する者を捜し求めなければならないのは、サタンが神に対する礼拝を奪おうとしているからです(ヨハネ 4:23-24. 参照、Iヨハネ 2:20, 27)。
- E. エリヤは、自分自身の命を顧みないで神の証しを維持するという原則を表します。彼は強く勇敢であって、王、民、バアルの預言者四百五十人の前に立ちました。召会が荒廃し、信者たちの大部分がなまぬるいとき、神は勝利者たちを起こして反対の証しとならせます。彼らは自分自身の命を顧みず、神のみこころだけを顧みます(それは、「わたしの証し人、わたしの忠信な者であるアンテパスが、サタンの住むあなたがたの間で殺された」ようにです)——啓 2:13-14. 12:11。
- II. ヤコブ第 5 章 17 節と 18 節は言います、「エリヤはわたしたちと同じ性情を持つ人でしたが、雨が降らないようにと熱心に祈ったところ、三年六か月の間、地に雨が降

りませんでした。そして、彼が再び祈ると、天は雨を降らせ、地はその実をみのらせました」:

- A. エリヤが「熱心に」祈ったことは、文字どおりには、彼が「祈りの中で祈った」ことを意味します。これが示しているのは、主からの祈りがエリヤに与えられ、その祈りの中で彼が祈ったということです。
 - B. 彼は自分の感覚、思想、意図、気分の中で、あるいは環境や状況から起こるいかなる動機の中でも、自分自身の目的を成就するために祈ったのではありませんでした。彼は主によって彼に与えられた祈りの中で祈り、主のみこころを完成するようにしました——参照、詩 27:4. ヨハネ 15:7。
 - C. カルメル山で、エリヤはイスラエルのすべての民とバアルの預言者四百五十人に言いました、「あなたがたはいつまで二つのものの間を行ったり来たりしているのですか？ エホバが神であるなら、彼に従いなさい。しかし、それがバアルであるなら、彼に従いなさい」——列王上 18:21 :
 - 1. エリヤが「エホバ、アブラハム、イサク、イスラエルの神」に祈ると、「エホバの火が下って、全焼のささげ物と薪と石とちりを焼き尽くし、溝にあった水をなめ尽くした」—— 36-38 節。
 - 2. 「すべての民はこれを見て、ひれ伏して言った、『エホバこそ、神です！ エホバこそ、神です！』」。その後、バアルの預言者四百五十人はすべて処刑されました—— 39-40 節。
 - 3. イゼベルはこれについて聞いたとき、エリヤを殺すとおどしました。エリヤは弱くなって恐れ、自分の命を救うために逃げました。彼は四十日四十夜行って、神の山ホレブに着き、洞穴に入って行き、そこに宿りました—— 19:2, 9-10。
 - D. エリヤが神の山にいたとき、突然エホバが通り過ぎ、彼は風、地震、火の中にいませんでした。火の後、神はエリヤに、「かすかな静かな声」で語りました。これは、神がエリヤを新約時代にもたらしていたことを示します。神は新約時代に彼の民に、雷によってではなく、かすかに静かに語ります——列王上 19:11-12. ローマ 8:6 後半. II コリント 2:13. I ヨハネ 2:27。
 - E. そして神は言いました、「わたしは七千人をイスラエルに残しておいた。みなバアルにひざをかがめず、そのすべての口はバアルに口づけしなかった」(列王上 19:18. ローマ 11:2-5)。これらの忠信な勝利者たちは、彼の「隠された者」(詩 83:3 後半)であり、わたしたちの神は「ご自身を隠す神」(イザヤ 45:15) です。
- III. エリヤがギルガルからベテルへ、ベテルからエリコへ、エリコからヨルダン川へ、エリヤに従ったことが見せているのは、新約時代の務めの中へと入るために、わたしたちは時代のビジョンにしたがって、内在的に時代の奉仕者に従うべきであるということです。わたしたちはこうするために、四つの極めて重要な場所を経過して主に従わなければなりません——列王下 2:1-14 :
- A. エリヤは旧約エコノミーを伴う旧約時代の予表であり、エリヤは新約エコノミ

一を伴う新約時代の予表です。

B. ギルガルを経過して、時代は転換しました。ギルガルは、神の民が割礼されて彼らの肉を対処した場所でした。ギルガルは、肉が裁かれる場所であり、神がわたしたちに光を与えて肉を裁かせる場所です——ヨシュア 5:2-9. ガラテヤ 5:24. ピリピ 3:3-8 :

1. 肉は、わたしたちが自分の誕生の時から所有しているすべてのものです（ヨハネ 3:6）。肉は、墮落した三部分から成る人の極限的表現です。わたしたちの霊の中のその霊は、三一の神の究極的实际化です。墮落した肉は、神の最も強い最も邪悪な敵であり（ローマ 7:5 — 8:13）、神によって徹底的に絶対的に憎まれています（創 6:3. I コリント 2:14-16. 3:1, 3）。
2. わたしたちが誕生の時から所有しているものはすべて、罪、汚れ、腐敗だけでなく、天然の良さ、親切、才能、熱心、知恵、能力も、神を不愉快にします。
3. 肉を拒絶することは、霊的な生活の最高の表現です。肉を拒絶することを学んだことがない者はみな、霊的な行程を開始したことがなく、霊的な生活を真に知りません。

C. ベテルを経過して、時代は転換しました。ベテルは、この世を放棄し、完全に神に立ち返り、神をすべてとする場所です。ベテルはこの世に対する勝利を指しています——創 12:8. I ヨハネ 2:15 :

1. 創世記第 12 章 8 節によれば、ベテルは、アブラハムが祭壇を築いた場所、神との交わりと交流の場所です。ベテルは、わたしたちが自分自身を神にささげ、完全に彼に明け渡してこの世に勝利する場所です——創 13:3-4。
2. この世に勝利することは、携え上げられ、聖霊の力を受けるための条件です。信者が真に聖霊で満たされ、携え上げられることを願うなら、代価を払ってこの世を放棄し、すべてをささげる祭壇の上で、神と交わることを学ばなければなりません。

D. エリコを経過して、時代は転換しました。エリコは、ヨシュアとイスラエルの民が良き地に入った時、打ち破らなければならなかった最初の町であり、神の敵サタンを表徴します——ヨシュア第 6 章. 啓 12:11 :

1. ヨシュア記第 6 章は、エリコに勝利することについて語っています。エリコは、「のろわれた」を意味します。カナン人は、エペソ第 6 章 12 節で述べられた天上にいるあの悪の霊の勢力を表徴します。
2. サタンはこの世の支配者であり（ヨハネ 14:30）、邪悪な霊どもはこの暗やみの世の支配者であり、この暗やみは今日のこの世を指しています。邪悪な霊どもは反逆の天使たちであり、彼らはサタンに従って神に対して反逆し、今や天上でこの世の諸国民を支配しています。例えば、ペルシャの君やギリシャの君などです（ダニエル 10:20）。
3. わたしたちは、「神のすべての武具を身に着け」る者となる必要があります（エ

ペソ 6:11, 13)。神のすべての武具は、キリストのからだ全体のためであって、からだのいかなる個人の肢体のためでもありません。わたしたちは個人としてではなく、からだの中で霊的戦いをしなければなりません。

4. この世に勝利する道は、わたしたちの信仰の霊を活用して、神の言葉を信じ、神の言葉にしたがって行動し、彼の言葉を遂行した結果をわたしたちが受けると信じることです（Ⅱコリント 4:13. ヨハネ 17:17. 6:63. エペソ 6:17-18）。エリコが陥落したのは、イスラエル人が神の言葉に依り頼み、彼らの地位に堅く立つことによってでした。主が三度、悪魔によって試みられていたとき、主は三度、「……と書かれている」（マタイ 4:4, 7, 10）とすることによって応答しました。
 5. わたしたちは邪悪な霊の攻撃に勝利するために、あらゆる状況や感覚を無視し、わたしたちの信仰の霊を活用して、神の約束の言葉を信じなければなりません。わたしたちはまた、キリストがわたしたちに与えた、天にある地位に立たなければならず、またサタンと彼の邪悪な霊どもを、彼らの低い地位に下ろさなければなりません——Ⅱコリント 4:13. エペソ 2:6. コロサイ 3:1-2。
 6. 祭司たちがエリコで契約の箱を担いだことが表徴するのは、霊的戦いにおいて、わたしたちが行なうべき第一の事が、キリストを高く上げ、すべての事で彼に第一位、首位を与えることであるということです。角笛を吹き鳴らすことと叫ぶことは（七度目に町を回った時）、神の指示の言葉を信じて、神とキリスト（契約の箱）を証しし、宣言することを表徴します——ヨシュア 6:1-20。
- E. ヨルダン川を経過して、時代は転換しました。この川は、新約のバプテスマが始まった所であり、死を表徴します。ヨルダン川を渡ることは、死に勝利し、復活の中で生きて務めをすることです——マタイ 3:5-6. ローマ 6:3-4. ガラテヤ 2:20 :
1. 主のバプテスマは死を表徴し、彼が水から出て来ることは復活を表徴します。復活の力によって、主は死に勝利しました。バプテスマされることによって、主は実際の死と復活の三年半前にさえ、復活の中で生きて務めをすることができました——マタイ 3:13-17。
 2. わたしたちは再生の時に、この復活の命としてのキリストを得ました。人・神、イエスは不法の者たちの手によって、十字架に釘づけられ殺されましたが、神は彼を、「死の苦痛から解き放って、復活させました。イエスが死に捕らえられていることは、あり得ないからです」——使徒 2:23-24. ヨハネ 11:25. Iペテロ 1:3。
 3. 命の新しさの中を歩くことは、わたしたちのバプテスマの実際の中で生きることです（ローマ 6:4）。霊の新しさの中で仕えることは、わたしたちのバプテスマの実際の中で仕えることです（7:6）。
 4. わたしたちは、キリストの復活の力を知ることを追い求める必要があります。わたしたちの天然の命によってではなく、キリストの復活の力によって、わた

私たちは自分の自己を否むことによって十字架を取ることを決意し、彼の十字架と一になることによって彼の死に同形化されることができます——ピリピ 3:10-12. マタイ 16:24. 雅 2:8-10, 14。

5. わたしたちは携え上げられるように用意しているとき、どのようにしてヨルダン川を渡って死に勝利するかを学ばなければなりません。わたしたちは、わたしたちの中に、またわたしたちの環境の中に存在する死の力に、どのように抵抗するかを学ばなければなりません。そしてわたしたちは、復活した主に結合されていることを表明し現して、すべての事で復活の力としての彼を知り、彼を表現すべきです——I コリント 6:17. II コリント 1:8-9. 5:4. 3:17. 参照、4:5, 10-12。
 6. 十字架の生活は復活の力によって生かし出され、復活の豊富によって促されます (ピリピ 3:10)。雅歌の結びの言葉は、キリストを愛し追い求める者が、彼女の愛する方が彼の復活の力 (かもしかと若い雄鹿) の中で急いで戻って来て、全地を満たす彼の甘く美しい王国 (香料の山々) を設立してくださるようにと祈ることです (雅 8:13-14. 啓 11:15. ダニエル 2:35)。
- F. わたしたちは、エリヤの携え上げと、聖霊の力がある霊の二倍の分とを受けたいなら (列王下 2:9-15)、ギルガル、ベテル、エリコ、ヨルダン川を経過しなければなりません。わたしたちの経験において時代が旧約から新約に転換するために、わたしたちは自分の肉を対処し (ガラテヤ 5:24. ピリピ 3:3)、この世を放棄して神に立ち返り (ヤコブ 4:4. I ヨハネ 2:15-17)、サタンを打ち破り (エペソ 6:10-20. 啓 12:11)、死を経過して、復活の中にある生活の中へと入らなければなりません (ローマ 6:3-4. ガラテヤ 2:20)。
- IV. この現在の時代は勝利者の時代であり、この現在の時代の務めは現在の時代の奉仕者を通して、勝利者に対する主の召しを発します (永遠のビジョンを見て、永遠の命を生き、永遠の働きを行なう者——これは、神の究極の目標を見て、新エルサレムを生かし出し成し遂げることです)。これらの勝利者は、キリストのからだの実際を建て上げ、キリストの花嫁を用意し、キリストの王国を実現するためです。この終わりの日々に神の究極の必要に応じるために、わたしたちは勝利者、すなわちバイタルにされた者になるという決意をしなければなりません——士 5:15-16, 31. 啓 2:7, 11, 17, 26-29. 3:5-6, 12-13, 21-22。